

## 庄内国有林の森林計画に関する住民懇談会の概要について

庄内森林管理署

令和5年4月を始期とする庄内森林計画区の地域管理経営計画等の策定に当たり、住民参加の森林づくりを進める一環として、地域の皆様からご意見・ご要望をお伺いする「住民懇談会」を開催しましたので、その概要をお知らせします。

今後は、いただいたご意見等を参考に、地域管理経営計画等の策定作業を進めていくこととします。

(1) 開催日時 令和3年12月9日(木)13時30分～16時00分

(2) 開催場所 山形県鶴岡市 マリカ西館3階 市民ホール

(3) 出席者 森林計画検討委員4名、一般参加者21名、山形県庄内総合支庁2名、鶴岡市1名、酒田市1名、局署関係者26名 計55名

### (4) 主な意見等の概要

- 風力発電計画に際しては、森林の多面的機能の発揮、国土保全の観点から、土地所有者として意見を言う場を持ち、対応いただきたい。
- 育成複層林で伐採を行った際に生じた水溜まりの周辺には、水に強いヤナギ、ハンノキ、サワグルミなどの広葉樹植栽の導入を検討していただきたい。
- 万里の松原自然観察教育林では、松くい被害によりクロマツ伐採が進み、林内に空間が生じている。住宅地に近く、広葉樹稚樹が発生する場所では、広葉樹を活かし育てる、あるいは、この箇所にはクロマツが適しているといった指導をしていただければ、ボランティア団体として森林づくりを手伝うことも可能と思われる。

また、20年ほど前、林内の活動拠点脇にボランティア活動で植栽したタブノキは、松くい虫被害木伐倒処理でほとんどが損傷し、消失しつつあるが、跡地にタブノキの萌芽が発生しており、ここではタブを育てる施業をお願いしたい。

- 多様な森林づくりの一環として、希少な猛禽類が確認されているエリアでは、狩り場として使えるような森林の創出をお願いしたい。
- 森林環境教育について、自然学習、体験学習は少しずつ増えてはいるが、まだまだ、一般の方の目が、自然に向いていないと感じる。技術的支援のほか、森林や自然について話していただく機会を積極的に取り入れていただきたい。

- 森林林業基本計画に掲げられている「新しい林業」について、低コスト、省力化は林業を生業として進めるうえでとても大切な視点ではあるが、生物多様性など森林環境にも配慮したものとなるようお願いしたい。
- 都会にのみ目を向けるのではなく、普段山と関わっている地元の方にも森林に親しむ機会を提供すべきであり、見直しも検討していただきたい。
- 庄内海岸林については、砂防林機能がより高度に発揮されるよう、将来樹種をどの程度植栽すべきかといった点も含め、今後も研究しながら進めていただきたい。
- 山形県の木材需要は増加している。管内人工林の齢級別割合は10齢級以上74%という説明があったが、路網整備、山土場の作設などを含め、計画的に伐っていくと同時に、1～9齢以下の少ない資源を補うための更新も確実に進めてもらいたい。



住民懇談会の様子



意見交換

#### お問合せ先

東北森林管理局 庄内森林管理署

☎997-0015

山形県鶴岡市末広町23-37

電話 0235-22-3331

FAX 0235-22-3333

Email [t\\_syounai@maff.go.jp](mailto:t_syounai@maff.go.jp)

担当:田口、小林